

秦野市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	92,507,000	31,111,920	123,618,920	82%	翌年度以降の鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けた里山林整備事業に充当。
譲与額(円)	115,107,000	36,241,000	151,348,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	広葉樹林整備活用事業補助金	4,340,000	2,340,000	広葉樹林の森林整備を行う森林組合を支援し、健全な里山づくり、未利用材の活用による森林・里山の循環サイクルの構築を図った。
	里山ふれあいの森づくり事業	6,236,000	647,000	私有の里地里山の保全再生活動を行うボランティア団体を支援した。 ・放置竹林の整備：356,000円 ・里地里山を活用した普及啓発やふれあい活動の実施：291,000円
	ふるさと里山整備事業費	43,995,320	12,709,000	鳥獣被害やナラ枯れ等の課題解決に向けて、里山林の整備（くずは峡谷、震生湖、弘法山、羽根林道）やナラ枯れの防除作業を行った。
	森林資源活用拠点事業費	8,525,000	8,525,000	羽根森林資源活用拠点（仮称）を整備することによる本市林業への影響や市域全体への経済波及効果等を調査、検証した。
	木のある暮らしづくり事業費	4,135,490	2,468,950	木と触れ合う機会を創出することで、森林林業に対する普及啓発を図った。 ・婚姻祝い品の作成 ・出産祝い品の作成 ・丸太イス、ベンチの作成
	敬老事業費	263,890	263,890	木と触れ合う機会を創出することで、森林林業に対する普及啓発を図った。 ・敬老祝い品の作成
	保育事務費	1,672,000	1,672,000	木と触れ合う機会を創出することで、森林林業に対する普及啓発を図った。 ・幼児用木製玩具の作成
	中学校運営費	2,178,080	2,178,080	木と触れ合う機会を創出することで、秦野産木材の活用を促進し、森林林業に対する普及啓発を進めるとともに、森林の循環サイクルの構築を図った。 ・中学校木製卒業証書の作成
	運営事務費(幼稚園費)	308,000	308,000	木と触れ合う機会を創出することで、森林林業に対する普及啓発を図った。 ・幼児用木製玩具の作成
合計		71,653,780	31,111,920	

■今後の主な活用計画

森林整備

- ・私有林整備の補助
- ・ナラ枯れ対策等の公有林整備

木材利用および普及啓発

- ・地域産木材を利用した記念品等の贈呈